

遺跡からたどる御所文化

はじめに

1. 戦国期の『洛中洛外図』に描かれた御所と公家の邸宅

・御所（内裏）の変遷

平安京の造営以降の歴史の中で御所（内裏）の位置は移り変わる

建武3年（1336）に定められた土御門東洞院内裏を整備拡充→現在の京都御所

・戦国期の御所と公家の邸宅

御所・近衛邸・飛鳥井邸・二条邸

上京と公家の邸宅

2. 豊臣秀吉による「公家町」の形成

・公家町とは

豊臣秀吉が上京・下京の公家の邸宅を御所周辺（およそ京都御苑の範囲）に集める

幕末に至るまで御所と公家町が宫廷政治・宫廷文化の中心となる

・公家町の形成

天正18年（1590）頃、御土居・寺町の造営と一体化して形成が進む

『中むかし公家町之図』 慶長16年（1611）～元和元年（1615）頃の状況を描く

3. 江戸時代の御所の修復と公家町の変遷

・御所・公家町を襲った江戸時代の大火

万治の火災・寛文の火災・宝永の大火・天明の大火・嘉永の火災…

・御所の再建

徳川幕府による再建 寛政の再建では裏松固禪の研究を取り入れて平安時代を復古する

・公家町の整備

火災を契機にして区画整理・屋敷地替え・範囲の拡大

4. 明治維新後の公家町と京都御苑の整備

・東京奠都（てんと）

多くの公家が東京移住 明治10年（1877）「大内保存事業」開始→国民公園として整備

・現在に残る公家町の遺構

近衛邸・桂宮邸・西園寺邸・九条邸・閑院宮邸など

5. 京都御苑の発掘調査・公家町の出土遺物

・京都御所・京都大宮御所・京都仙洞御所の発掘調査

・京都迎賓館の発掘調査と出土遺物

・二条邸・一条邸・閑院宮邸の発掘調査

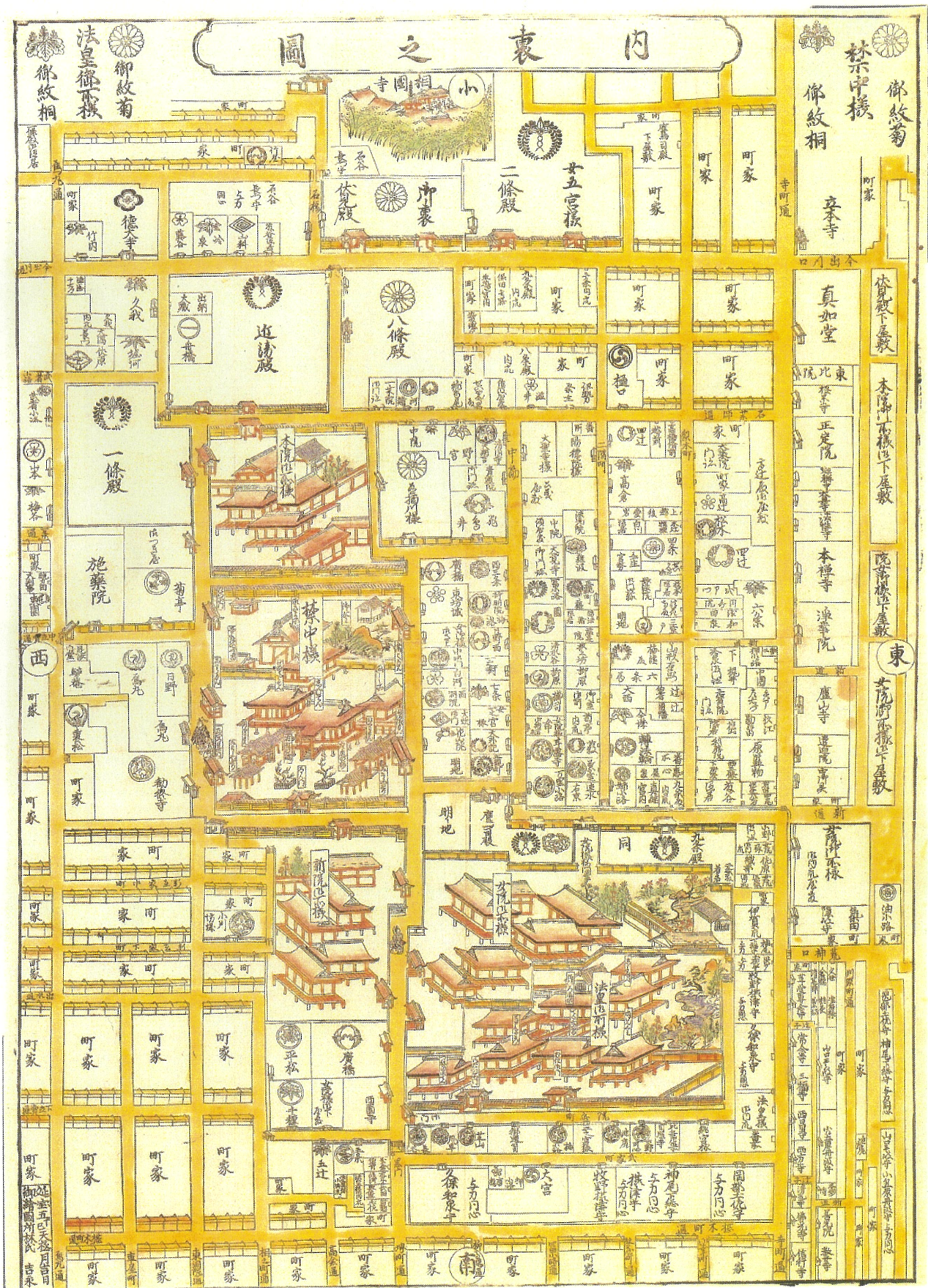
まとめ



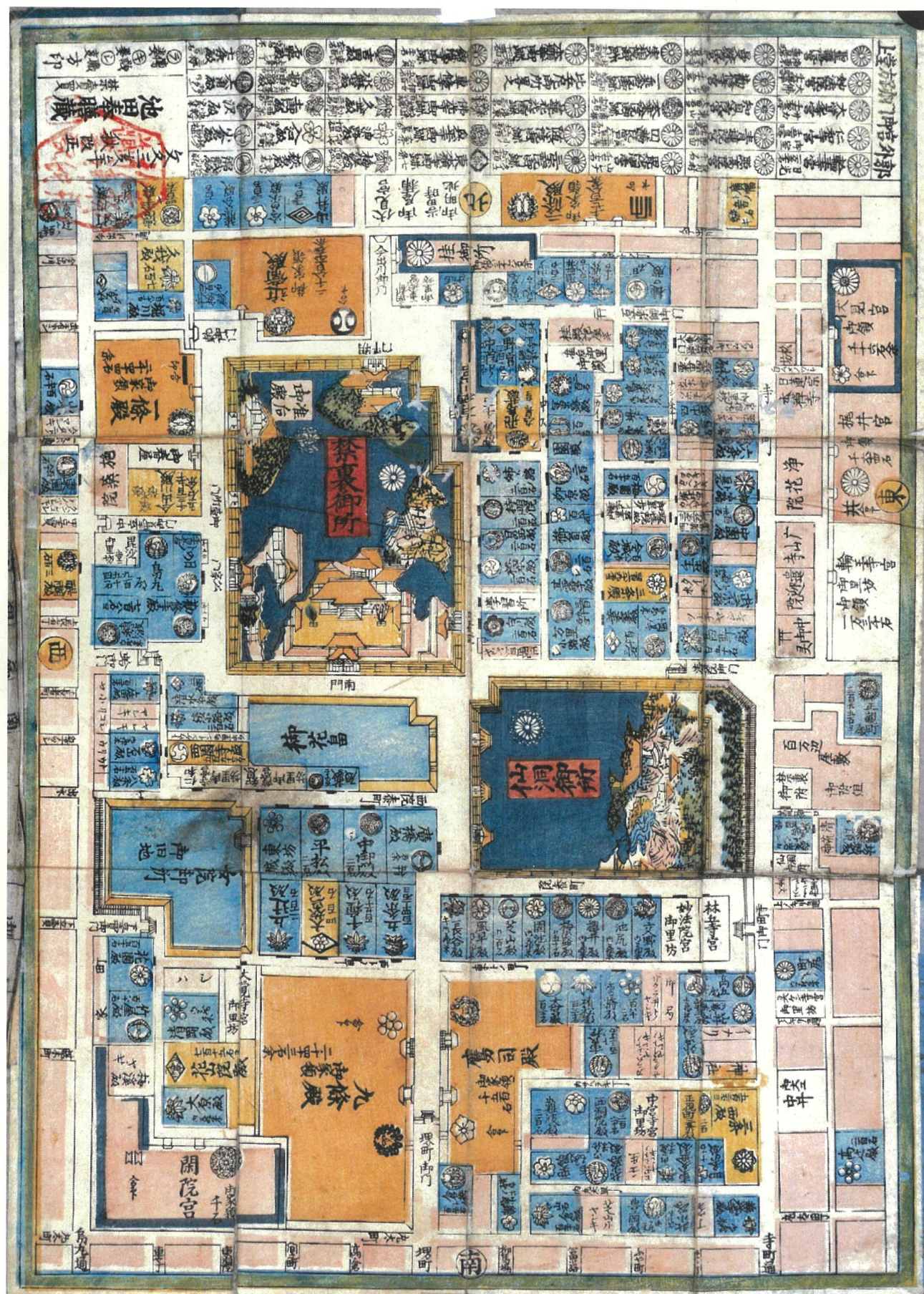
ガラス製品（公家町出土）



菊文京焼（公家町出土）



〔新改〕内裏之図 延宝五年（1677）【上が北】



内裏図 文久三年後修 (1863 以降) 【上が北】